

# ブロック・学区紹介

## 西南ブロック

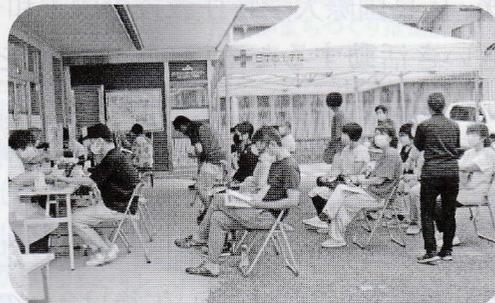
## 赤坂学区公衆衛生推進委員会会長 宮宗 弘光

赤坂学区の「献血」「清掃美化」「学校との連携」事業を紹介します。

### ①「献血事業」

- ・第1回は1971年（昭和46年）、受付人数は124人。以降、不定期開催
- ・1986年（昭和61年）から毎年実施
- ・2014年（平成26年）からは「まちづくり推進事業」として位置付けられ、学区まちづくり推進委員会の各団体が協力して取り組んでいます。

献血が200mlから400mlになった影響により協力者数が減少したことや、2020年のコロナ感染症の拡大の年は、献血開始から50年の節目であったことから、危機感をもって取り組んだ結果、受付数が増加しました。そのため、半日の日程では受け付けしきれないので、2023年度（令和5年度）から1日の対応とするなど、活動が活性化しています。



### ②「清掃美事業」

- ・1998年（平成10年）から取り組みを開始しました。
- ・「芦田川を守る日」や「都市環境月間」にも参加しています。
- ・2011年（平成23年）から、河手川美化活動に取り組んでいます。
- ・2014年（平成26年）から、「まちづくり推進事業」として、毎年5月と10月の2回の取り組みをしています。
- ・小学校、中学校、高校と連携した学区全体の取り組みとして、済美中学校と福山中高等学校の生徒さんがボランティア参加しているほか、学区の「子どもまちづくり委員会」の小学生も参加し、まちづくりの大きなイベントとなっています。



### ③「赤坂小学校との連携事業」

- ・学区文化祭で脱温暖化パネルを展示したり、学習会を開催したりしました。
- ・「エコライト・フェスティバル」（温暖化防止啓発イベント）を2008・2009年に実施しました。
- ・「地球温暖化学習」（6年生対象の出前学習）を2011年から実施しています。
- ・「田んぼの生物調査と観察」（5年生対象の出前学習）を2014年から継続しています。



地球温暖化に伴う環境への影響には大きいものがあります。小中高校生との河川清掃や小学校との身近な環境学習を通じて、脱温暖化の重要性を、身をもって感じてもらいたいと願っています。

# 第62回環境保健夏季大学に参加

7月18日(木) 19日(金)  
RCC文化センター(広島市)

環境協主催の合同研修、環境保健夏季大学が開催されました。コロナ対策もあり、2日間通いの研修会で、福山市公衛協からは23名の参加者がありました。

1日目は、【健康づくり】をテーマに、広島県の「健康」施策について、広島県健康福祉局健康づくり推進課長の山下十喜さんから、健康づくり計画の概要と介護予防の説明を受けた後、広島国際大学特任教授の國末和也さんから、「聞こえとコミュニティー活動 ～地域でいきいき活動するために～」の講演を聞きました。45歳から65歳の間では、加齢による難聴が、認知症の最も危険な因子となり、難聴になると社会活動の減少や認知機能の低下により、認知症のリスクが2倍になることが報告されました。65歳以上では、約半数の人に「聞こえ」の問題があるそうです。ヒアリング・フレイルリスクの自己チェックをして、聞こえにくいというのは難聴以外の問題もあることから、早めに耳鼻科に行くこと、補聴器の相談もできることなどを学びました。午後は3つの分科会、①カードゲームで「食べる」を考える、②体操体験などで「運動」を考える、③「聞く」で社会参加をする、に分かれて研修しました。

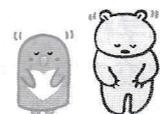
2日目は、【環境づくり・防災】をテーマに、「能登半島地震から見てきた水・トイレの課題」について、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターの増田勇希さんの講演を聞きました。長期にわたり断水が続き、トイレなど大変困ったそうです。能登には井戸も少なく、防災井戸も未整備だそうです。簡易トイレの準備や、防災井戸の整備が必要です。午後は、3つの分科会、①災害時のトイレ事情を考える、②水利用と防災井戸を考える、③防災食と感染症を考える、に分かれて研修しました。



## 地区衛生組織活動資金募集(環境・健康募金)

令和6年7月末現在 募金 7,086,600円

ご協力ありがとうございました。引き続きご協力をお願いします。



健康づくり・食育応援！ポータルサイト  
毎月21日は ふくやま健康づくりの日

ふくやま 健康づくり 検索



福山市公式LINEから  
「フレイルチェック」を  
クリック！11項目の質問に  
答えて、フレイル予防に



### 編集後記

今夏は命にかかわる危険な猛暑を体験しました。

夏季大学に参加して簡易トイレの組み立てなど貴重な体験を得ました。能登半島地震の現状を学ぶ中で、被災された方々のご苦労を思うと、一日も早く平常の生活に戻れることを願うばかりです。

さて、「公衆衛生」という言葉には重要な意味が含まれています。「みんなで、みんなの生命や生活をまもること」です。公衆衛生推進協議会は「環境」と「健康」を守るために組織された任意団体、皆様の生活に身近な問題に取り組んでおります。ご理解ご協力の程よろしく  
お願い申し上げます。  
(前市正詔)

### 広報委員

委員長	村田政雄(有磨)
副委員長	岩井信男(千田)
委員	田邨勝二(湯田)
	金尾富子(光)
	佐藤和司(泉)
	瀧口誠(常金丸)
	前市正詔(松永)
	兼田邦洋(馬場)
会長	園尾俊昭(道上)